平成29年度特定健診・特定保健指導法定報告結果

平成29年度の特定健診・特定保健指導について、国へ実績報告（法定報告）をいたしましたので、下表のとおり当組合の実施計画と併せてお知らせします。

【目標値及び実績値】（表1）　（単位：%）

		第一期計画					第二期計画				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
特定健康診査	目　標　値	20	30	50	60	70	45	50	55	60	70
	法定報告値	30.1	27.6	34.3	39.0	40.7	41.6	43.9	45.2	46.2	46.0
特定保健指導	目　標　値	10	20	30	40	45	20	20	25	25	30
	法定報告値	0	2.2	4.9	15.9	23.8	22.4	29.6	28.4	25.2	21.8

平成29年度の特定健診・特定保健指導の実績評価

平成29年度の特定健診・特定保健指導の実施結果は、特定健診が目標値70%に対して実施率46.0%（対象者3,220名、受診者1,482名）、特定保健指導は目標値30%に対して実施率21.8%（対象者261名、受診者57名）となり、特定健診、特定保健指導ともに前年度の実施率を下回る結果となりました。（表1、図1）

特定健診

○　特定健診の受診方法は、人間ドック及び一般健診が75.5%（前年度比＋1.8%）、定期健診・レディース健診が4.3%（同－0.5%）、特定健診単独受診が15.0%（同－1.0%）、その他（安衛法の健診データ受領等）が5.2%（同－0.3%）となり、依然として検査項目の多い健康診査に受診が偏った状況となっています。

○　また、男女別の健診実施率は、男性49.3%（前年度比－1.0%）、女性41.6%（同＋0.9%）となり、男女間で7.7%の開き（前年度9.6%）がありました。

前年度より男女間の受診率の差は改善したものの、依然として女性の受診率が低いことがうかがえます。

特定保健指導

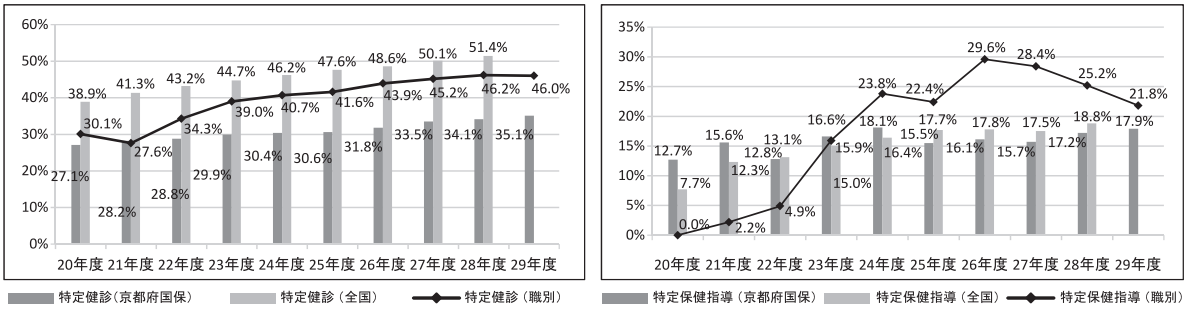
○　特定健診受診者における特定保健指導の対象者割合は17.6%（前年度比＋0.8%）で、その内訳は「積極的支援」が47.1%、「動機づけ支援」が52.9%となりました。

○　男女別の特定保健指導実施率では、男性21.7%（前年度24.9%）、女性22.7%（同27.0%）となり、いずれも減少となりました。特定保健指導利用者及び対象者内訳では、利用者が57名（男性47名、女性10名）、対象者が261名（男性217名、女性44名）となり、前年度と比較して対象者が増加する一方、利用者は減少している状況です。

全国、京都府国保との比較

○　当組合の実施率について全国及び京都府国保と比較すると、特定健診は京都府国保の平均を上回っているものの全国平均を下回っており、特定保健指導は全国と京都府国保のいずれも上回っている状況となっています。（図1）

【全国・京都府国保・職別国保　特定健康診査・特定保健指導　実施率年度推移】（図1）



※ 全国・京都府国保は確報値のみ掲載。